

時間割コード	G2B46213	開講年度	2026				
授業題目	ソーシャルサイエンスにおけるフードスタディーズの入門ゼミ					担当教員	MAWER KIM GISELA
英文授業名	Introduction to Food Studies in the Social Sciences						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・4時限	対象学生	全
講義室	共通教育3 7 講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	
						備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学D P 的確に情報を収集し、理解し、発信する力					⇔	グループプロジェクトのメンバーの間の役割分担、計画、時間管理など、プロジェクトワークに必要な運営力を身につけることができる。 グループプレゼンテーションに対して、ピアフィードバックを与えることができるようになる。 演習で得た知識を使って日常生活における食物と食べることを吟味できるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム	グローバルコア人材養成コース ・ B A S I C (国際共修)						
(4)授業の概要	This seminar will introduce students to food studies in the social sciences. In the first four sessions, we will look at how food studies developed in the social sciences and the kinds of topics that are covered.To help understand human beings' relation to food and how we decide what to eat, students will then be introduced to a "culinary triangle" consisting of the following corners: identity, convenience, responsibility. For each of these corners, we will have a block of sessions with one main group activity followed by student presentations. Through the activities in this seminar, students will gain an understanding of how our food choices are shaped within socio-culturally embedded complex commodity chains. Students will also learn how to critically investigate and reflect on these commodity chains and their own food choices.						
(5)授業のキーワード	食生活、食文化、異文化理解						
(6)授業計画	第1回：Orientation 第2回：What is food studies? 第3回：Individual task & discussion session: What's for dinner? 第4回：How do we decide what to eat? - Introducing the culinary triangle 第5回：Introduction to Block 1: Identity 第6回：Group work & guidance 第7回：Group work & guidance 第8回：Presentations 第9回：Introduction to Block 2: Convenience 第10回：Group work & guidance 第11回：Group work & guidance 第12回：Presentations 第13回：Introduction to Block 3: Responsibility 第14回：Group work & guidance 第15回：Group work & guidance 第16回：Presentations + Class survey						
(7)成績評価の方法	Group presentations (60%) Reflection papers (20%) Peer feedback (20%)						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	ディスカッションに参加できるため、課されたリーディングを読む。 グループプロジェクトのため、他のメンバーとコーディネートして、情報収集、分析、発表準備する時間の確保が必要です。 他のグループの発表に関するフィードバックを書く。						
(10)履修上の注意	この授業は主に英語にて実施されるが、学生と相談した上で、部分的日本語への切り替えすることも可能です。						
(11)質問,相談への対応	質問や相談はEメール、アポイントメント、授業後に教室で対応します。						
(12)授業への出席	全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するためには12回以上の出席が必要です。						

(12)授業への出席	「出席停止」に該当する際は、その旨の申請があり、指示された学修の補充に取り組んだ場合は成績評価の対象とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	欠席した回によりますが、適宜にエッセイが課されます。
【教科書】	指定がありません。 必要なリーディングやその他の資料は授業中に配布されます。
【参考書】	指定がありません。